

鶴岡工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	保健・体育Ⅰ（体育）	
科目基礎情報							
科目番号		0011		科目区分	一般 / 必修		
授業形態		講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科		創造工学科（機械コース）		対象学年	1		
開設期		通年		週時間数	2		
教科書/教材		Activesports					
担当教員		本間 浩二					
到達目標							
1 集団内における自身の役割と責任を自覚し、他者と協力して各種目に向かうことができる。 2 各種目を通じて基本的な技術を習得し、ゲームで活かすことができる。 3 運動を行う環境に対して安全配慮ができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
レディネス		時間、服装、整列、挨拶といった規律を守り、体調を整え授業に向かうことができる。		規律維持や体調管理が不十分なこともあるが、ある程度できる。		規律、体調管理に対する意識が低い。	
競技遂行意欲 (意欲/態度)		競技特性を十分に理解し、意図的に技術の遂行ができる。		競技特性を理解し、意図した技術遂行はできないがある程度はできる。		競技特性への関心が低く、基本的な技術遂行がほとんどできない。	
主体性・自己管理 (意欲/態度)		ルール・マナー意識が高く、自身の長所を発揮して、集団に貢献できる。		ルールやマナー・モラルを守り、自身の持つ能力を発揮できる。		ルールやマナー・モラルを守らず、能力発揮の意識が低い。	
コミュニケーション (協力/協調)		目的達成のためにベターな提案を選び、合意形成のための支援ができる。		集団の意見を聞き、自分の意見を伝えることができる。		集団の意見を聞かず、自己主張のみである。	
チームワーク (協力/協調)		他者と協調・協働を意識して、目的意識を持って行動ができる。		集団において他者と協調・協働して行動ができる。		集団において他者と協調・協働して行動できない。	
責任感 (協力・協調)		集団の目標達成のために、自らを律して前向きな取り組みができる。		集団の動きに合わせ、マイナス行為を戒めて行動できる。		集団の一員としての意識が持てず、マイナス行為が見られる。	
安全・環境管理		用具や施設を正しく大切に使用し、周囲にも安全配慮を促せる。		用具や施設を正しく使用できる。		用具や施設管理運用をするうえで自身の安全配慮ができない。	
競技別スキル		競技特性に応じたスキルができる。		競技スキルに応じたスキル発揮がある程度できる。		競技特性に応じたスキル発揮ができない。	
学科の到達目標項目との関係							
(B) 幅広い教養と技術者・研究者としての倫理を身につける。							
教育方法等							
概要		各種運動の実践を通して、運動技能を高めると同時に、運動の楽しさや喜びを感じ得る。また、自己の体調を整え、体力の向上を図りながら、協力、責任などの社会的態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を身につける。					
授業の進め方・方法		毎時間の準備運動（ストレッチ・体幹トレーニング）を入念に実施し、けがのないように配慮する。適時種目内容に応じた施設・設備、用具を活用し、毎時間の目標に沿って授業を進めていく。					
注意点		・ 服装は学校指定の運動着とする。事情によって別の衣類を着用する場合は担当教員に異装許可をとる。 ・ 正当な理由のない遅刻はしないように注意する。					
事前・事後学習、オフィスアワー							
オフィスアワー（OFFICE HOUR）15：00～17：00を原則とするが、都合がつけばいつでも対応する。ケガ相談、テーピング、健康に関わる相談等、可能な限り学生の意向に沿って対応する。							
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	・ 授業ガイダンス 2ndシラバスによる説明		・ 体育授業の概要について知ることができる。		
		2週	・ 選択種目ver 1 - 1（校内体育大会 - 練習4種目から選択） 1) サッカー／ソフトボール 2) バドミントン／バスケットボール 3) ソフトバレー 4) 陸上／卓球		・ 各種目のルールを守り、安全な環境設営ができる。		
		3週	・ 選択種目ver 1 - 2（校内体育大会 - 練習4種目から選択） 1) サッカー／ソフトボール 2) バドミントン／バスケットボール 3) ソフトバレー 4) 陸上／卓球		・ 仲間と協力して行動できる。		
		4週	・ 選択種目ver 1 - 3（校内体育大会 - 練習4種目から選択） 1) サッカー／ソフトボール 2) バドミントン／バスケットボール 3) ソフトバレー 4) 陸上／卓球		・ 各競技の特性に応じたスキルを発揮できる。		

		5週	・選択種目ver 1 - 4 (校内体育大会 - 練習4種目から選択) 1) サッカー/ソフトボール 2) バドミントン/バスケットボール 3) ソフトバレー 4) 陸上/卓球	・自己の能力に応じ、意欲的に楽しみながらゲームに参加できる。
		6週	・選択種目ver 1 - 5 (校内体育大会 - 練習4種目から選択) 1) サッカー/ソフトボール 2) バドミントン/バスケットボール 3) ソフトバレー 4) 陸上/卓球	・仲間と協力し合い、準備－練習－ゲームといった一連の運営ができる。
		7週	・選択種目ver 1 - 6 (校内体育大会 - 練習4種目から選択) 1) サッカー/ソフトボール 2) バドミントン/バスケットボール 3) ソフトバレー 4) 陸上/卓球	・仲間と協力し合い、準備－練習－ゲームといった一連の運営ができる。
		8週	・選択種目ver 1 - 7 (校内体育大会 - 練習4種目から選択) 1) サッカー/ソフトボール 2) バドミントン/バスケットボール 3) ソフトバレー 4) 陸上/卓球	・仲間と協力し合い、準備－練習－ゲームといった一連の運営ができる。
	2ndQ	9週	・選択種目ver 1 - 8 (校内体育大会 - 練習4種目から選択) 1) サッカー/ソフトボール 2) バドミントン/バスケットボール 3) ソフトバレー 4) 陸上/卓球	・仲間と協力し合い、準備－練習－ゲームといった一連の運営ができる。
		10週	・ソフトボール/バスケットボール - 1 ※晴天時はソフトボール、雨天時はバスケットボール	・各種目のルールを守り、安全な環境設営ができる。
		11週	・ソフトボール/バスケットボール - 2 ※晴天時はソフトボール、雨天時はバスケットボール	・仲間と協力して行動できる。 ・各競技の特性に応じたスキルを発揮できる。
		12週	・ソフトボール/バスケットボール - 3 ※晴天時はソフトボール、雨天時はバスケットボール	・仲間と協力して行動できる。 ・各競技の特性に応じたスキルを発揮できる。
		13週	・ソフトボール/バスケットボール - 4 ※晴天時はソフトボール、雨天時はバスケットボール	・仲間と協力し合い、準備－練習－ゲームといった一連の運営ができる。
		14週	・ソフトボール/バスケットボール - 5 ※晴天時はソフトボール、雨天時はバスケットボール	・仲間と協力し合い、準備－練習－ゲームといった一連の運営ができる。
		15週	・ソフトボール/バスケットボール - 6 ※晴天時はソフトボール、雨天時はバスケットボール	・仲間と協力し合い、準備－練習－ゲームといった一連の運営ができる。
		16週	・ソフトボール/バスケットボール - 7 ※晴天時はソフトボール、雨天時はバスケットボール	・仲間と協力し合い、準備－練習－ゲームといった一連の運営ができる。
後期	3rdQ	1週	・ソフトバレー - 1	・種目のルールを守り、安全な環境設営ができる。
		2週	・ソフトバレー - 2	・仲間と協力し合い、準備－練習－ゲームといった一連の運営ができる。
		3週	・ソフトバレー - 3	・仲間と協力し合い、準備－練習－ゲームといった一連の運営ができる。
		4週	・ソフトバレー - 4	・仲間と協力し合い、準備－練習－ゲームといった一連の運営ができる。
		5週	・ソフトバレー/フットサル - 1 (選択制)	・各種目のルールを守り、安全な環境設営ができる。
		6週	・ソフトバレー/フットサル - 2 (選択制)	・仲間と協力し合い、準備－練習－ゲームといった一連の運営ができる。
		7週	・ソフトバレー/フットサル - 3 (選択制)	・仲間と協力し合い、準備－練習－ゲームといった一連の運営ができる。
		8週	・ソフトバレー/フットサル - 4 (選択制)	・仲間と協力し合い、準備－練習－ゲームといった一連の運営ができる。
	4thQ	9週	・バスケットボール/ソフトバレー - 1 (種目ローテーション制) ※種目については変更する場合もある。	・仲間と協力し合い、準備－練習－ゲームといった一連の運営ができる。
		10週	・バスケットボール/ソフトバレー - 2 (種目ローテーション制) ※種目については変更する場合もある。	・仲間と協力し合い、準備－練習－ゲームといった一連の運営ができる。
		11週	・バスケットボール/ソフトバレー - 3 (種目ローテーション制) ※種目については変更する場合もある。	・仲間と協力し合い、準備－練習－ゲームといった一連の運営ができる。
		12週	・バスケットボール/ソフトバレー - 4 (種目ローテーション制) ※種目については変更する場合もある。	・仲間と協力し合い、準備－練習－ゲームといった一連の運営ができる。
		13週	・バスケットボール/ソフトバレー - 5 (種目ローテーション制) ※種目については変更する場合もある。	・仲間と協力し合い、準備－練習－ゲームといった一連の運営ができる。
		14週	・バスケットボール/ソフトバレー - 6 (種目ローテーション制) ※種目については変更する場合もある。	・仲間と協力し合い、準備－練習－ゲームといった一連の運営ができる。

		15週	・選択種目ver 2 - 1 (校内体育大会 - 4 種目から選択) 1) サッカー／ソフトボール 2) バドミントン／バスケットボール 3) ソフトバレー 4) 陸上／卓球	・次年度の校内体育大会の種目を把握する。
		16週	・選択種目ver 2 - 2 (校内体育大会 - 4 種目から選択) 1) サッカー／ソフトボール 2) バドミントン／バスケットボール 3) ソフトバレー 4) 陸上／卓球	・仲間と協力し合い、準備－練習－ゲームといった一連の運営ができる。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
分野横断的 能力	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	周囲の状況と自身の立場に照らし、必要な行動をとることができる。	3	
				自らの考えで責任を持つてものごとに取り組むことができる。	3	
				目標の実現に向けて計画ができる。	3	
				目標の実現に向けて自らを律して行動できる。	3	
				日常生活における時間管理、健康管理、金銭管理などができる。	3	
				社会の一員として、自らの行動、発言、役割を認識して行動できる。	3	
				チームで協調・共同することの意義・効果を認識している。	3	
				チームで協調・共同するために自身の感情をコントロールし、他者の意見を尊重するためのコミュニケーションをとることができる。	3	
				当事者意識をもってチームでの作業・研究を進めることができる。	3	
				チームのメンバーとしての役割を把握した行動ができる。	3	
				リーダーがとるべき行動や役割をあげることができる。	3	
				適切な方向性に沿った協調行動を促すことができる。	3	
				リーダーシップを発揮する(させる)ためには情報収集やチーム内での相談が必要であることを知っている	3	
				法令やルールを遵守した行動をとれる。	3	
				他者のおかれている状況に配慮した行動がとれる。	3	
				技術が社会や自然に及ぼす影響や効果を認識し、技術者が社会に負っている責任を挙げることができる。	3	
				自身の将来のありたい姿(キャリアデザイン)を明確化できる。	3	
				その時々で自らの現状を認識し、将来のありたい姿に向かっていくために現状に必要な学習や活動を考えることができる。	3	
				キャリアの実現に向かって卒業後も継続的に学習する必要性を認識している。	3	
				これからのキャリアの中で、様々な困難があることを認識し、困難に直面したときの対処のありかた(一人で悩まない、優先すべきことを多面的に判断できるなど)を認識している。	3	
				高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業や大学等でどのように活用・応用されるかを説明できる。	3	
				企業人としての責任ある仕事を進めるための基本的な行動を上げることができる。	3	
				企業における福利厚生面や社員の価値観など多様な要素から自己の進路としての企業を判断することの重要性を認識している。	3	
				企業には社会的責任があることを認識している。	3	
				企業が国内外で他社(他者)とどのような関係性の中で活動しているか説明できる。	3	
				社会人も継続的に成長していくことが求められていることを認識している。	3	
				技術者として、幅広い人間性と問題解決力、社会貢献などが必要とされることを認識している。	3	
技術者が知恵や感性、チャレンジ精神などを駆使して実践な活動を行った事例を挙げることができる。	3					
企業人として活躍するために自身に必要な能力を考えることができる。	3					
コミュニケーション能力や主体性等の「社会人として備えるべき能力」の必要性を認識している。	3					
	総合的な学習経験と創造的思考力	総合的な学習経験と創造的思考力	総合的な学習経験と創造的思考力	公衆の健康、安全、文化、社会、環境への影響などの多様な観点から課題解決のために配慮すべきことを認識している。	3	

評価割合

	レディネス	競技遂行意欲	主体性・自己管理	コミュニケーション	チームワーク	責任感	安全・環境管理	競技別スキル	合計
総合評価割合	20	5	5	5	5	5	5	50	100
レディネス	20	0	0	0	0	0	0	0	20
競技遂行意欲	0	5	0	0	0	0	0	0	5

[illegible]